NIE実践報告

1．タイトル：「新聞に親しみ、自分たちの世界を広げよう」

2．学校名

兵庫県稲美町立天満小学校

3．実践者名（代表者名）

湊　謙

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・社会科　141人

6．単元（本時の学習課題）名

「世界を知ろう」(国際理解)

7．目標(狙い)

各自でテーマを決め、新聞報道からテーマに関連する記事を集める。集めた情報をもとに学習新聞を作り、発表する。

8．評価の視点

自分が課題を持って継続的に新聞報道を追い、集めた記事を活用し、工夫して分かりやすい学習新聞を作ることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「世界の中の日本」(教科書:東京書籍)[社会科:5時間]
「世を知ろう」[総合的な学習の時間:7時間]　合計12時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①社会科　「世界の中の日本」を学習し、日本と世界の国々とのつながりや、地球上で起きている問題について興味を持ち、考える(5時間)
②新聞づくりの方法を知り、活動の課題をもち、計画を立てる。(1時間)
③計画に沿って新聞記事の切り抜きや資料を集める。(3時間)
④調べたことを学習新聞にまとめ、発表会「世界を知ろう」を行う(3時間)

(留意点)
・新聞だけでなく、インターネットや雑誌の特集を活用したり、図書館の本などを情報源として利用することも支援していく。
・見出しや記事・写真の掲示方法などは、一般の新聞などを表現モデルとして参考にさせる。また、レタリングなども工夫させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

学校全体で地球環境問題に取り組んでいるので、環境問題を題材に選ぶ児童が多かった。また、男子は特に、スポーツを通して世界各国に学んで行こうとする姿がよく見られた。

12．成果と課題

児童の間にも、インターネット社会は広がりつつある。しかし、情報の信頼性という点では、新聞は優れた情報源である。社会全体への責任ある情報発信の大切を考える上でも、新聞記事を主にして情報収集を行ったことは、児童にとって大変いい勉強になった。今後更に、意見文の書き方や文章のまとめ方について、研究を進めていきたい。